

盲女美術家のビジネスプランの魅力

2018 年：研究室の活動

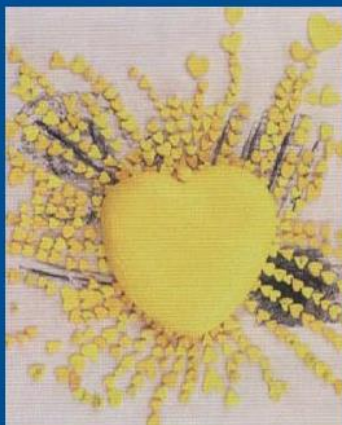
- 1、2018 年 1 月、横浜市経済局主催「ウーマンビジネスフェスタ 2018CHEER」パシフィコ横浜、ビズコン最終審査通過登壇発表
- 2、2018 年 7 月、横浜リハビリテーション事業団主催、「ヨッテクヒューマンテクノランド 2018」パシフィコ横浜展示場 D 室出展、「盲女美術家が提案するデザイン」「盲女美術家 SACHIKO のスーパーかわいい絵画店」同時出展
- 3、2018 年、平成30年7月30日交付：日本商工会議所平成29年度補正予算「小規模事業者持続化補助金」採択「盲女美術家が提案するデザイン PR 事業」
- 4、2018 年、11 月ヨコハマ SAS・UD 研究室主催「盲女美術家 SACHIKO のスーパーかわいい絵画店」あおばのギャラリー（緑区）
- 5、2018 年、11 月 IDEC 主催「プレミアムマーケット」「盲女美術家 SACHIKO のスーパーかわいい絵画店」赤レンガ倉庫展示室第一号館
- 6、平成30年1月25日特許庁「盲女美術」を商標登録出願（申請）
平成 30 年 10 月採択予定 識別番号：518047241
- 7、2018 年 11 月神奈川県主催「かながわビジネスオーディション 2018」神奈川経済産業センター二次審査通過登壇発表
- 8、2018 年 12 月神奈川県主催「かながわシニアビジネスグランプリ 2018」神奈川県民センター一次審査通過

2018 年：仕事実績

- 1、2018 年 10 月「ユニバーサルカタログ比較調査」横浜ポートサイド地区タワーマンション、添付写真と添付要項資料があります。別便送付
- 2、2018 年 10 月「化粧品パッケージ表示比較調査」横浜ポートサイド地区タワーマンション添付写真と添付要項資料があります。別便送付
- 3、2018 年 11 月「食品表示比較調査」横浜ポートサイド地区タワーマンション添付写真と添付要項資料があります。別便送付
- 4、2018 年 11 月「しかけ絵本比較調査」横浜ポートサイド地区タワーマンション添付写真と添付要項資料があります。別便送付

平成30年7月30日交付：日本商工会議所平成29年度補正予算「小規模事業者持続化補助金」採択
平成30年1月25日特許庁「盲女美術」を商標登録出願（申請）
平成30年10月採択予定 識別番号：518047241

2013 年
東京都立美術館
金沢 21 世紀美術館展示作品



2014 年
PARIS ギャラリーサテリット
JAPAN Prints 展



※障害者になってからの作品の写真です。左は、レリーフ作品です。右は、コラージュを含むミックスドメディア作品です。

競合他社

地元競合他社との比較

□□ 良い、△ふつう、× 良くない

	当社（視覚障害者と晴眼者が行う「ユニバーサルデザイン」会社）	A社（晴眼者の一般的なリサーチ会社）	B社（障害者の福祉団体）
モニター個人情報詳細通知義務（病名障がい等級など）	□ 個人情報詳しく伝えた視覚障害者と晴眼者のモニターで人数が多い	× □ モニター登録しやすいように個人情報おまか	□ 仲間うちのモニターが多い、いつもモニターが同じ
地域限定のモニター	□ 障害をもつモニターが安心して集まりやすい	×	×
自前の実査会場有す	□ 横浜駅徒歩10分の会場、モニター50名可。無料	△ 会場を借りることが多い、有料、高い室料	× □ 公的会場を借りる。有料、低い室料
登録進行係、誘導員を自社でもつ	□ 登録者（晴眼者）がサポートをする	× モニター以外の仕事をする人を登録することは少ない	□ 障害者の仲間や家族に頼む。経験少ない
適正価格	□ 実査のみ調査20万円。集計、データ、分析、報告含む調査40万円。経費を抑えたため割安	× 実査のみの調査30万円、集計、データ、分析、報告含む調査60万円、割高	△ 実査調査のみ30万円
登録調査員・モニターを自社でもつ	□ 視覚障害者と晴眼者のモニター	× 障害者モニターのみ登録	□ 障害者団体なので、その会員がモニター
回答票や報告書提出が早い	× □ ハンディあるので時間がかかる	□ マニュアル化により早い	□ 実査のみの回答票なので早い
自社調査票（アンケート）、回答票、フェイスシートの作成	□ 登録（視覚障害者）が「ユニバーサルデザイン」調査に必要な設問をアドバイスしながら作成する。	□ 晴眼者が作成するため思い込みの設問になりがち	△ 依頼者が作成したものを使用
サンプルのデータ化、集	□ ハンディあるため慎重	□ 簡単にまとめる	△ 回答票のみの提出

計表作成、オープンクエス ションのまとめ	に正確に作成するため時 間要す、(視覚障害者)		
図化、グラフ化、着彩しデ ザイン化パンフレット作成	☐ デザイナーが関わり美 的にまとめる。(登録(晴 眼者))	☐ 一般会社員エクセル 表	×
調査結果の分析、報告書 作成	☐ 登録(視覚障害者)	☐ 一般社員が作成	×
クライアントに直接対応、 報告書の説明と提出	☐ 登録(視覚障害者)・事 業責任者が対応する	△ 社員が対応、郵送の 場合もある	×

上記の通り、競合他社との違い一つ一つをあげていきますと、当研究室には、以下のような他にはない新規性が浮かび上がりました。

新規性

1. 視覚障害者の代表の美的キャリア
 2. 晴眼者と視覚障害者が協業
 3. モニターの充実
 - (1) 登録数現在 50 名、増加中
 - (2) 個人情報の一部開示
(個人を特定するものは除く)
 - (3) モニター層の厚み
 4. 研究機関、大学、福祉団体との太いパイプ
- このような新規性は、事業の強みに繋がります。

当事業の強み

展示会等で、お客様に事業を次のように案内しています。
アナウンスした当事業の強みを紹介します。

《売り上げアップの調査・提案・企画》

- (1) 丸まかせが出来る調査として評価されています。
障害者の立場で丁寧な調査を行います。晴眼者との協業で信頼と安心の調査結果を提供出来ます。
- (2) 盲女美術家のユニークな提案が評判です。
健常者では気づかない問題点を伝えます。代表のこれまでのデザイナー、教育者、造形作家としての経験をフルに発揮して売り上げ向上のためのお手伝いをします。
- (3) (1) と (2) の礎になる貴重なデータを持っていることが最大の強みです。
登録モニター 50 名の中から 35 名の視覚障害者に関して、一般的な履歴に加え、病因、見え方の詳細(視野・視力・色覚・見える範囲)、家族構成、白状の有無等の情報を、調査結果分析に活かして、独自の提案が出来るのです。
- (4) 企業イメージアップにつながると評価されています。
障害者グループの支援は、社会貢献につながりお客様の企業印象に好感度をプラスします。

ここまで、説明しました当研究室の新規性、差別化、事業の強みを背景に、これを活かしたビジネスプランの実現の可能性について、以下に説明します。実現の可能性Ⅰで「取り組み状況と人材確保」を、また、実現の可能性Ⅱでは「具体的な調査実践をととして、協業の組織づくり」を取り上げて説明しています。

実績記録Ⅰ 事業準備段階含む

- ① 二年前に遡り、これまでの事業記録を見直し、現在の取組状況をたどります。スピード感はかけます

が、地道に事業準備を進めました。

2016年 9月	★視覚障害者のモニター7名登録 ★晴眼者のモニター5名登録 □9月17日第一回横浜ラポールにおいて新旧点字誘導ブロックの比較調査を実施 クワハタデザインオフィス製作の商品「エスコット」(横浜SBIR認定商品)と従来型のJIS規格の点字誘導ブロックの使用体験調査実施
10月	□10月15日第二回横浜ラポールにおいて新旧点字誘導ブロックの比較調査を実施 □報告書作成提出、調査結果の報告 ☆みなとみらいクリニック、けいゆう病院、とみい眼科、中崎クリニック →医師、看護師、薬剤師、栄養士、晴眼者の協力者(晴眼者)4名登録
11月	☆福祉情報機器販売(有)丸信テックに営業活動及び協力者登録の勧誘 →視覚障害者の協力者(視覚障害者)1名登録、晴眼者の協力者(晴眼者)1名登録 ☆福祉事務所(びゅう横浜)に勧誘 →介護福祉士、晴眼者の協力者(晴眼者)6名登録
12月	☆(株)インクルーシブデザインソリューションズに勧誘 →会社員、視覚障害者の協力者(視覚障害者)1名登録 ☆福祉団体横浜市視覚障害者福祉協会に勧誘 →事務員、晴眼者の協力者(晴眼者)1名、視覚障害者の協力者(視覚障害者)6名登録 ☆福祉団体横浜市身体障害者団体連合会に勧誘 →ボランティア下肢障がいの方だが、晴眼者の協力者(晴眼者)1名登録
2017年 1月	☆福祉団体東京都視覚障害者生活支援センターに勧誘 →就労支援士、晴眼者の協力者(晴眼者)1名登録 ★視覚障害者のモニター12月までに20名登録 ★晴眼者のモニター12月までに15名登録
2月	□2月16日第一回保土ヶ谷区視覚障害者福祉協議会かるがもにおいて、知育玩具バンビーノ社製穴あき「こどもトランプ1to10」の市場調査マネージメントリサーチを実施 □2月23日第二回神奈川区ヨコハマSASUD研究室において、知育玩具バンビーノ社製穴あき「こどもトランプ1to10」の調査票調査によるマネージメントリサーチ
3月	□報告書を作成、調査結果を報告
4月	□報告書を作成、調査結果を報告
5月	☆福祉団体保土ヶ谷区視覚障害福祉協会に勧誘
6月	→パソコン指導ボランティア、晴眼者の協力者(晴眼者)1名登録 □6月6日大日本絵画出版、視覚障害者のための「仕かけ絵本」の実態調査 「四季」音が出る絵本、「トーマス10までのすうじ」厚紙の数字部分が切り抜かれて、数を触って認識する絵本、
7月	□6月15日大日本絵画出版、視覚障害者のための「仕かけ絵本」の実態調査 「うさこちゃん」パペット絵本、「ミッキーのおさんぽ」指人形絵本 ☆社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団主催「ヨッテクヒューマン&テクノランド」出展 →団体8社8名と交流し、その後担当者へメール送信、営業活動
8月	☆横浜視覚障害者福祉協会の理事を通じて情報機関紙「声の会報9月号」でモニターを募集 ☆日本盲人会連合の情報部を通じて全国の会員に向けてメール配信により、モニターを募集 ☆横浜市社会福祉協議会の情報部を通してモニターを募集
9月	☆横浜視覚障害者福祉協会の理事を通じて情報機関紙「声の会報10月号」でモニターを募集 ★視覚障害者のモニターが9月～10月にかけて合計15名登録
10月	□9月2日、9日、23日横浜美術館横浜トリエンナーレ展において、視覚障害者のための解説ツアーで、視覚障害者の美術鑑賞の可能性の調査を実施 □10月21日、横浜美術館横浜トリエンナーレ展において、視覚障害者のための解説ツアーで、視覚障害者の美術鑑賞の可能性の調査を実施
2018年 1月	□21日横浜美術館会議室において、全盲の視覚障害者の鑑賞は可能かを課題に調査票調査を実施
3月～	横浜市経済局主催「ウーマンビジネスフェスタ CHEER, 2018」パシフィコ横浜:最終審査通過、優秀者として登壇発表
7月	アール・プリュットの作家との出会い、企画展示の準備に奔走、あおばのギャラリー、アートかれん、ぶかぶかアート屋ワンド、かぶかぶ川和町、市民ギャラリーあざみの、ラポール文化事業部を尋ねる。 展示会パシフィコ横浜:「ヨッテクヒューマンテクノランド」出店モニター確保

10月 11月	日本商工会議所:平成29年度補正予算小規模事業者持続化補助金に審査後採択、7月に交付 特許庁「盲女美術」商標登録採択 10月交付 あおばのギャラリー「盲女美術家 SACHIKO のスーパーかわいい絵画展」 赤れんが倉庫:女性起業家プレミアムマーケット出店 展示会大阪展「シーズ・ニーズ」出店
------------	---

以上がこれまでの取組状況です。二年間の記録で訴えたかったのは、登録モニターの差別化です。不特定多数のモニターに調査を依頼するタイプの調査もありますが、当研究室では対面し、会話を通じて考えや意見を聞きます。そのうえで納得後登録をお願いしています。ですから、モニター評価に対する考えがしっかりしているので、それが調査の回答に反映するのです。

次に事業の実現のために、視覚にハンディを持つ私が他に工夫していることを説明します

実績Ⅱ

協業の組織づくり：仕事分担の工夫

視覚障害者と晴眼者の役割を次のように分担しました。

（１）協業の組織づくり：仕事分担の工夫、視覚障害者と晴眼者の役割を次のように分担しました。

＜障害者が行う「音声化」「活字化」の仕事＞、「音声化」とは顧客接客や電話対応などで音や声でまかなえる仕事です。「活字化」とは書類の作成など音声ソフトを使いパソコン操作をする仕事です。＜晴眼者が行う「見える化」「見せる化」の仕事＞、「見える化」とは視覚障害者が歩行で困っている時の同行援護や書類の読み上げをする仕事です。「見せる化」とは、顧客に提出する書類や写真や図、グラフやカラー部分の作成が主な仕事です。このように視覚障害者が得意とする音声やパソコンのテキストの分野を自ら担当しますが、晴眼者は視覚障害者の不得意な部分を補います。その仕組みを具体的に考案しました。

（２）仕組みを活かした、準備期間のトライアル調査

2016.9 横浜ラポール：「点字誘導ブロックの新旧比較調査」、2017.2 バンビーノ社製穴あき「子どもトランプ 1to10」、2017.10 横浜美術館：「視覚障害者のための解説ツアー解説文提案」、2018.9 「紙製ユニバーサルカトラリーの開発」、

このようなモニター評価調査の実践のなかから、協業の仕組みの基本とした「誘導ブロックの調査」を振り返り、一連の当事業の実現可能性を説明します。

（３）点字誘導ブロックの新旧比較調査（UD型とバリアフリー型）から視覚障害者と晴眼者の役割分担：

2016年9月にマーケティングリサーチのトライアルを実施しました。内容は、横浜市内企業であるクワハタデザインオフィスの横浜市SBIR認定商品「エスコット」（屋内用点字ブロック）と従来品のJIS規格の点字誘導ブロックの比較です。2日間にわたり、10名のモニター（視覚障害者5名、晴眼者5名（内車椅子使用者1名））で、視覚障害者には白状に伝わるブロックの突起形状、触覚を、晴眼者には色彩美を尋ねました。既存の商品ですが、色と形、材質についても、改めて問い直しました。

障害者スポーツ文化センター横浜ラポール 2016.09.17 点字誘導ブロック比較調査

1. 1Fの床に従来品のJIS規格点字誘導ブロックとクワハタデザインオフィスの横浜市SBIR認定商品「エスコット」が交差して貼られている風景



障害者スポーツ文化センター横浜ラポール 2016.09.17 点字誘導ブロック比較調査 1Fのエントランスから皆で点字誘導ブロック(JIS規格)を使用し歩行体験をする様子。



「ユニバーサルデザイン」型に期待する声をクワハタ氏に伝えました。従来型のブロック離れの遠因に歩行支援の制度の改善や装置の技術向上が背景にあります。色や形に注目した報告から数か月後に、3F の見えにくい誘導ブロックの両側にラインがひかれ分かりやすく改善されました。トライアルとは言え改善の一助となったと思います。

（４）事業における、具体的な仕事の分担：

- ・（視覚障害者スタッフ 1 名）実査会場担当者と打ち合わせ、実査進行係
- ・（晴眼者スタッフ 2 名）会場下見、視覚障害者のモニターの介助、調査員、写真撮影、報告書のカラー部分のグラフ化や写真映像部分に関する仕事。

調査には、モニターが 10 名参加します。半分に分かれて活動しました。

障害者付き添いの方を含めると、18 名になりますので、二手に分かれる必要がありました。

二日間をかけて調査を行いました。休館日ではないので、一般のお客様に迷惑をかけないようにしました。

◎晴眼者モニター 5 名

◎視覚障害モニター 5 名にガイドヘルパーが付き添いました。

以上、障害当事者と晴眼者の協業による当事業の実現の可能性について、具体的な実践を通して、説明しました。準備段階のトライアルの仕事ですが、以上のとおり報告させていただきました。販路先は近隣の横浜市内の事業所でした。他に 2 事例を紹介します。

これらの 3 件は売り上げにはつながりませんでした。経費は当研究室で全額負担しました。

2017 年 2 月横浜市内バンビーノ社製穴あき「子どもトランプ 1 to 10」

市場調査を行い、改善点を提案しました。その後この商品は経済産業省のクールジャパン事業に採択され 4 月にパリで展示されました。当研究室の提案の成果でもあります。アートにこだわりをもった遊び方の追加及びパンフレットのリニューアルを提案しました。



2017 年 10 月横浜美術館

横浜美術館（西区）において同 9 月から 10 月にかけて視覚障害者のための解説ツアー」に関わり解説文の提案をしました。



広報活動

活躍する女性起業家として、平成30年1月のサンケイリビング新春号に掲載されました。また、平成30年1月27日横浜市経済局主催の「ウーマンビジネスフェスタ2018」のプレゼンコンペ最終審査を通過し、優秀者として国際会議場のパシフィコ横浜にて登壇しました。



発表のテーマは、当事業の内容で「障害者が提案するデザイン」です。

さらに、平成30年2月横浜市視覚障害者福祉協会理事の関塚龍補さんから内閣府のチャレンジ賞に推薦されました。

今後のプラン

1、モニター登録に見るビジネスの成長

私は、二年前に事業準備をはじめた時から、モニター登録の呼びかけをしました。事業にモニター評価は必要でしたので、人材確保に取り組みました。はじめは、身近な人に声をかけて、晴眼者と障害者を併せて10名が協力を申し出てくれました。2016年9月点字誘導ブロックの比較調査をぎりぎりの人数で行うことが出来たのです。人数は少ないのですが、それぞれが、障害者や支援機器のブロックに強い関心があるので、調査票の回答は実に充実したボリュームと価値ある回答を得ることが出来ました。小規模のグループ調査のメリットを十分に果たすことが出来ました。次に示すように、「障害者モニターの質と数」の増加は、当事業の成長を表すものと思います。そこで、モニターの人材確保の伸長から、事業の成長性を説明します。

1、成長性

・事業で最も力を注いでいるのが人材です。そこでモニターの充実度で当事業の成長性を説明します。

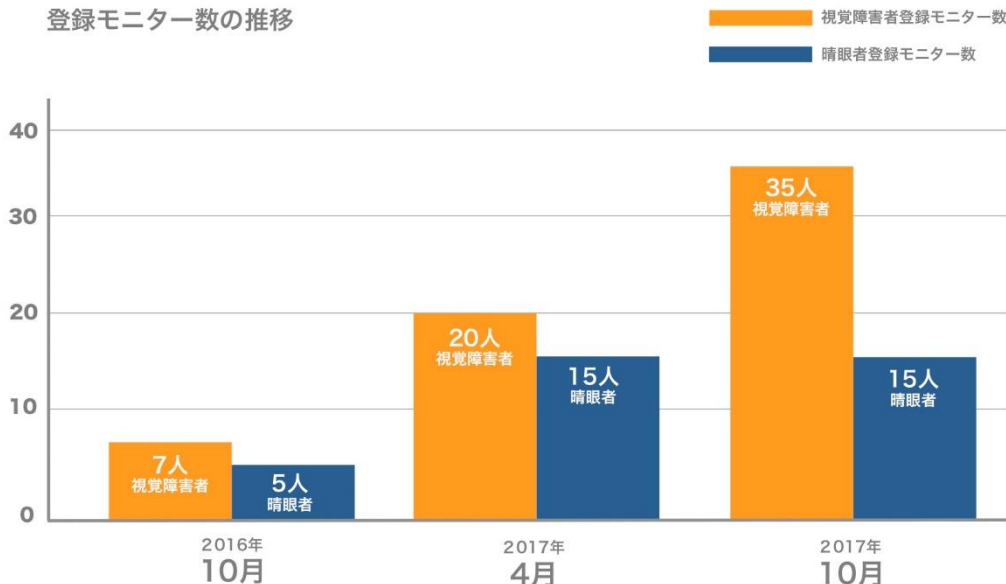
(1)モニター登録者数でみる成長性

- ・2016年10月視覚障害者7名、晴眼者5名
- ・2017年4月視覚障害者20名、晴眼者15名
- ・2017年10月視覚障害者35名、晴眼者15名

視覚障害者のモニター数は5倍に、晴眼者のモニター数は3倍に増えました。

棒グラフー視覚障害者はオレンジ色、晴眼者はネイビー色

登録モニター数の推移



視覚障害者のモニター登録者内容で見る成長性

2016年と2017年のモニター登録者の個人情報から、年齢層が広がりました。また、障害の病因も多種多様で見え方の違いが調査の結果分析の重要な資料となりました。（他に障害の等級、在勤在住地、白杖の有無、家族構成などもまとめましたが、紙面の関係で省きました。）

(2) 年齢層の充実

- ・2016年10月（登録者数7名）、男性1名、女性6名
10代0名、20代0名、30代0名、40代3名、50代2名、60代1名、70代1名、80代0名
- ・2017年10月（登録者数35名）、男性8名、女性27名
10代0名、20代1名、30代2名、40代3名、50代15名、60代9名、70代3名、80代2名

(3) 障害の病因の多様性

- ・2016年10月（登録者数7名）
緑内障2名、ベーチェットC病1名、網膜色素変性症2名、レーベル病1名、先天性全盲原因不明1名
- ・2017年10月（登録者数35名）

事故0名、先天性緑内障2名、原発性緑内障1名、緑内障5名、白内障5名、糖尿病2名、ベーチェットC病2名、網膜色素変性症7名、レーベル病2名、網膜剥離1名、網膜芽細胞腫2名、網膜ひだ症1名、未熟児網膜症1名、視神経炎症1名、視神経脊髄炎1名、くも膜下出血による失明1名、先天性全盲原因不明1名

上記のグラフからもわかるように、モニターが年間5倍に増えてもモニターの募集をしています。いまだに登録制にしています。モニターを希望する人には、フェイスシートの内容を確認後、記入してもらいます。項目は13あります。中でも、見え方や見える程度は、詳細な情報を記入してもらいます。下記に、当研究室のオリジナルのフェイスシートを添付しましたのでご覧ください。重要視しているのは失明の原因となった病気や事故についてです。その結果どのような見え方で、どの程度みえるのかを注視しています。視野狭窄はもとより色覚についての情報も加えました。計測器を使用した検査結果も大切ですが、日常生活で支障のあることを本人の感覚で伝えてもらうことが重要です。

なぜなら、障害者の病因の特性や障害の程度は、調査結果に影響があるからです。

・盲女美術家オリジナルフェイスシート資料

- 1氏名 ふりがな
- 2連絡先
携帯
電話
メールアドレス

3 住所 〒

4 生年月日 西暦〇〇〇〇年

昭和、平成〇〇年〇〇月〇〇日、〇〇歳

5 性別

6 職業、現在 過去 学生

7 資格、特技、趣味

8 障がいの等級 第 種第 級、 障がいの重複 有無

9 障がいの原因の病名、事故名

病気がわかった時期、事故の時期 年月

失明の時期 念月

10 見え方 (重要) (全盲、ロービジョン)

①視野 (左) (右) ②視力 (左) (右)

③具体的なものの見え方、複数番号可

・ (左) (右)

選択肢 (1、中心部のみ見える、2、外周のみ見える、3、一部分のみ見える、4、霧の中の状態、5、火の玉が飛び交っている状態、6、光や照明のみ感じる、7、明暗を感じる、8、いつもチカチカしている状態、9、物が動くゆらぎを感じる、10、全く見えない、11、その他) 11は具体的に書いてください。

④具体的な色の見え方 複数可、おうちでクレヨンや絵の具使って試してください。

(左) (右) (両眼)

選択肢 (1 明度の違いがわかる、2、黒と白・黄色の違いはわかる、3、彩度の違いがわかる、4、色相の違いがわかる、5、はっきりしたいろならば何色でもわかる、6、背景の色によって色の違いがわかる、7、淡い色がわからない、8、素材によって色の違いがわからない、9 液晶画面によって色の違いがわからない、10、全く色の違いがわからない、11、その他) 11は具体的に書いてください。

⑤眼の状況

(左) (右)

選択肢 (1、疲れ目 2、まぶしくて遮光眼鏡が必要、3、眼球の周りが痛む、4、目が疲れ頭痛がする、5、眼球の周辺が痛む 6、眼がかすむ 7、涙目、8、目がかわく、9、まぶたがさがる重い、10、特に目立った症状はない 11、その他) 11は具体的に書いてください。

11 白杖使用の有無、ご家族の構成

12 UDに関する考え

13 所属する団体名

このフェイスシートは、視覚障害者専用です。晴眼者の方には、差し支えない限り職業や趣味特技を田恒しています。また、車椅子使用の方、肢体障害者の方に、それぞれ対応するフェイスシートを用意しています。障害の種類や程度、病因や事故因を書きやすいように、具体例を用いています。視覚障害者以外の障害をお持ちの方のフェイスシートは共通です。晴眼者の協力者には、リサーチの調査員をお願いしています。晴眼者専用シートでは、職業及び視覚特技趣味等を詳しく聞き、「障害」「ユニバーサルデザイン」についての考えを質問しています。

事業を理解し積極的に、集まった人々によるモニター評価を仕事に活かしてこそ、ビジネスを成功に導くことと考えています。当研究室の単独の事業が1件と共同開発の案件が2件あります。一つは「視覚障害者のためのトイレ設備サイト」の作成です。二つ目は「紙製ユニバーサルカトラリー」と「歩行ロボット」の開発です。前者の2つは、既にはじめていますので、以下で説明します。

2、「視覚障害者のためのトイレ設備サイト」作成

(1)「トイレ設備サイト」作成の理由

外出時のトイレの使用は、ほとんどの視覚障害者にとって悩み事の種であろうかと思います。目でもものを見つけないことが出来ないの、経験や記憶を頼りに位置を予測して行動しますので、経験のない物事は皆解決出来ないのです。トイレという場所がら、素手ですべてに触って水洗のペダルなどを探すのに抵抗があります。デザイン性の高い素敵なトイレですと、水洗のペダルやボタンを見つけるのが大変に難しい場合が多いです。トイレで立ち往生したり、一度外に出て、外部の人に尋ねまわったりします。人が周囲にいれば個室に入る前に位置を尋ねることが出来ますが誰もいない

ときは自分で何とかしなければならないわけです。

当初私共が、たとえばホテルなどのトイレの使い勝手の良し悪しを調査して、アナウンスの見直し提案を予定していましたが、（これも大切ですが）数的に拉致があきませんので、誰もがアクセス出来るシステムをウェブ会社協力のもと、作成することにしました。

中小企業診断士から、いっそのことサイトを設けたらどうかというアドバイスを受けました。ちょうどその時当研究室のホームページのリニューアルを検討していた時でした。思案の末、ホームページの一部を使って「視覚障害者のためのトイレ設備の情報」を載せることにしました。現在ウェブ会社と交渉中です。次のようなプランを持っています。

（２）サイト構成プラン １

ウェブ会社とサイトの体裁を決める。

- ①病院、役所、百貨店、ショッピングセンター、ホテルの一覧
- ②建物のトイレ内写真と、設備の説明文（一頁に二つの事例）洗面所の写真、蛇口とせっけん水、お手拭きの状況の説明文(例モデル写真と説明文を下に掲載しました。)
- ③はじめは、横浜市内数件の建物内のトイレ設備を掲載

（３）サイト掲載資料収集プラン２

- ①サイトに掲載するトイレ設備のサンプルを作成
- ②トイレ設備の掲載を承諾してくれる施設を探す。
- ③掲載承諾後、協力者はトイレ設備の撮影と説明文作成に臨む。
- ④協力者は、トイレ設備の写真と説明文を事務局に提出する。
- ⑤集めたトイレ設備の写真と説明文を整えて、掲載する。

（４）協力者への依頼内容

①横浜市内の集客率の高い施設の「トイレ内・洗面所の写真、説明文」（病院、役所、百貨店、ショッピングセンター、大型文化スポーツ施設、ホテル他、）

・トイレ写真：

「トイレットペーパー設置場所」「水洗のレバーやボタンの場所」は必ず一画面に撮影

・トイレ説明文：

「トイレットペーパー設置場所」「水洗のレバーやボタンの場所」は必ず視覚障害当事者のいる場所を示してから、説明します。（便座に座った時ペーパー位置右手すぐ横、使用後便器後タンク左レバー）などの表現、

・洗面所写真：「蛇口やせっけん水の設置場所」「お手拭きやドライヤーの設置場所」は必ず一画面に撮影

・洗面所説明：「蛇口やせっけん水の設置場所」「お手拭きやドライヤーの設置場所」は必ず視覚障害当事者がいる場所を示してから説明します。蛇口水の出し方、せっけん水の有無使い方、乾燥機やナフキンの位置、使い方などは必須、簡単明瞭に説明します。

②活動期間 10 月中旬～11 月中旬

③撮影許可：事前に撮影許可もらっておきます。

撮影の趣旨、目的等書いた書類用意

④打ち合わせ 10 月 10 日から 15 日

⑤提出方法：写真と説明文をレイアウトして提出、下図を参照

事例 1 トイレ



- ① トイレットペーパーは便座に腰かけて左壁面
- ② トイレットペーパーと並んで（奥に向かって）
除菌クリーナーディスペンサーあり
- ③ 便座に腰かけて右側面にウォッシュレット操作ボタン
- ④ 水洗は便座の後ろ側、中央にあるセンサーに手をかざす

- ① トイレトペーパーは便座に腰かけて左壁面
- ② 便座に腰かけて右側面にウォシュレット操作ボタン
- ③ 水洗は便座の後ろのタンク左手（便座に腰かけて）にあるレバーで
洗面所写真と説明文の例



事例 2 洗面所



- ① 洗面台に向かって右側に石鹸ボトル
- ② 自動センサー蛇口
- ③ 洗面台に向かって右側にハンドドライヤー
(上からのジェット温風が出てくるタイプ)



- ① 洗面台に向かって蛇口左横に石鹸ボトル
- ② 蛇口はレバーハンドルで上下操作
- ③ 洗面台に向かって右壁面にハンドドライヤー
(ドライヤーの中に手を入れるタイプ)

（５）「トイレ設備サイト」作成：これからの予定

2018 年 12 月までに協力者により 30 件の横浜市内建物施設のトイレ設備と洗面所の資料を作成。
2019 年 1 月～横浜市内の集客率の高い公共施設あるいは商業施設に、障害者の生活状況を伝え、
サイトにトイレ設備の資料作成と提供を願い出ます。2018 年に作成した資料を参考提示します。
この年から、トイレの写真及び説明文の提供を、所有する企業にお願いします。（病院、役所、百
貨店）等事例を 100 件を目的に増やします。

2019 年 6 月～都内 23 区に同様の事業を行います。

2020 年 7 月横浜市と都内 23 区で各 300 件の事例を作成掲載予定

もう一つの案件、横浜市肢体障害者福祉協会との共同開発

3、「紙製ユニバーサルカトラリー」の開発

（１）紙製にこだわる理由

ユニバーサルカトラリーはさまざまあります。しかし、製品の材料を見ると、紙製は、見つけることが出来ませんでした。紙製にこだわって探しますと、エコタイプの単純なスプーンでした。100 本袋に入って 980 円～1200 円の一本当たり 1 円～1 円 20 銭ほどでした。私が望む紙製カトラリーは、使い捨てでありながら、ハンディのある人も対象にしたデザイン性の高い安価な商品です。ファストフード等で使用出来るレベルの商品を目指しています。専門店及び百貨店等、ネットでも見つけられませんでしたので、普及前であることと、紙製は丈夫さの点で開発が難しいのかもしれない。そこで、当研究室で開発が出来たらと考えまして、横浜市肢体障害福祉協会に協力を得て、現在既存のユニバーサルカトラリーの比較調査を計画しました。

（２）紙製ユニバーサルカトラリー開発のための商品比較調査の実際

参考資料：調査実施使用商品一覧を次に掲載しました。どの商品もスプーンの持ち手やつぼの形状を工夫し、素材の持ち味を活かしています。素材の違いはありますが、形状と触感に着目しました。

ユニバーサルカトラリースプーン比較調査対象商品一覧

					
メーカー名	斎藤工業	岡部洋食器製作所	ののじ株式会社	ピジョン株式会社	金正陶器
商品名	曲げれるユニバーサルスプーン スプーンフォーク兼用	口あたりやさしい スプーン	UD NEW カレスプーン	ハビナース すくいやすいスプーン	ミッフィー ユニバーサルデザイン ミルクウィード スプーン
特徴	・シンプルなデザインのスプーン。 ・先端が丸くなって、口にやさしく食べ物が落ちにくい新形状。 ・スプーンが握りにくくなったと感じたら、スポンジや万能カフを取り付けて(後付可能)使用できます。 ・曲げて使える	・シリコンゴムの中にコシのあるナイロン樹脂の芯を埋め込んだ新しいスプーンです。先端は柔らかなシリコンゴムを使用しているので、口元や歯茎へのあたりがやさしいスプーンです。 ・コシのある芯が入っているので柔らかすぎず、とても使いやすくなっています。 ・食器洗浄機・乾燥機対応	・唇に幅広くフィットし易いスプーンです。 ・底が浅く、唇との接地面を意識したRのデザインが特徴。 ・手になじむ穏やかなカーブは、お皿から口元まで料理をスムーズに運ぶことができます。	・「ハビナース すくいやすいスプーン」は、おはしの使用が難しくなった方のための介護用スプーンです。 ・器を手で持ちづらくなってきた方のため、器からすくいやすい食具です。 - 注意事項 …… ・電子レンジの中に入れてください。 ・ヘッド部とハンドルの間を曲げないでください。 ・火のそばに置かないでください。 ・熱いお湯やスープで金属部が高温になり、やけどすることがあります。	・離乳期に合わせてお使いいただけるアイテムです。 ・大切な時期の食育に安心と安全をお届けします
材質	ステンレス・スポンジ	シリコン・ナイロン66	18-8ステンレス（柄部サテン仕上げ）	18-8 ステンレス（ハンドル部分ポリプロピレン）	スプーン部-ステンレス、にぎり手部-ポリプロピレン
サイズ	28mm	37×182mm	172×33mm	17cm	9.3×2.5cm
対象者	介護用	・手に障害がある方、握力の弱い方にも使いやすく、介助にも適しています。	子供用 左右利き手用	介護用	子供用
価格	1,274円	918円	864円	648円	540円

（３）紙製ユニバーサルカトラリーの開発のこれから

10月の調査では、持ち手やつぼ(口にいれるところ)の形状やサイズに注目して、主に使用感を商品比較しています。開発の参考にするため何回か商品を変えて調査を行う予定です。モニター評価に肢体障害のハンディをお持ちの方にご協力いただいて開発を進めています。10月20日は金属、シリコン、ナイロン等素材の商品を対象に調査します。ユニバーサルのための工夫を参考にします。次回は紙製の試作で調査に臨みたいと考えます。洋紙情報と試作材料入手は竹尾洋紙店、和紙情報と試作材料の入手日本橋榛原の二社を予定しています。実際に加工する紙は、安価で、高品質の素材を探します。相反する条件ですが、廃物を活かすよう、優良素材の切れ端を、再加工することで

新商品を提供出来るように工夫します。紙加工製造は横浜市内の中小企業を考えています。紙製ユニバーサルカトラリーの開発も含め、当事業の今年のこれからの予定を次に示します。

4、当事業の2018年9月～12月の予定

2018年10月食品パッケージ表示比較調査
2018年10月化粧品パッケージ表示比較調査
2018年10月～トイレ設備調査
2018年11月みなと赤十字病院環境設備調査予定
2018年11月～国際ユニバーサル研修準備
2018年11月～国際ユニバーサルマナー検定準備
2018年12月第二回紙製ユニバーサルカトラリー比較調査

5、来年2019年の当事業予定

代表者の呼び名の「盲女美術家」にあるように、これからも視覚障害者、女性、アーティストの立場で、その特徴と能力を発揮する経営を行います。地域や行政から高い評価を受けた事業です。期待にそってアートの中で、大きなハンディを乗り越えて、女性ならではの細やかさを仕事に臨みます。そのために、以下の計画を実行します。

- ・販路先を絞り、横浜市を会場とする展示会に出展し、顧客とモニター登録を増やします。
- ・登録モニター合計80名を目標に人材を確保します。
- ・ホームページをリニューアルします。写真や動画を用い、明るく親しみやすい画面構成にします。SNSと連動し販路拡大を図ります。障害者のためのトイレ設備の頁を設置。
- ・これまでは、①企画開発、提案2割②リサーチ4割③展示4割、④UD研修（準備中）⑤UD検定（準備中）の売り上げを目指しました。これを新メニューで、①企画開発、提案1割②リサーチ4割③展示3割、④UD研修1割⑤UD検定1割にします。将来的にはメニューの見直しが必要になる可能性があるかと思います。
- ・10月中に新メニューのパンフレットを横浜市文化観光局及び保健福祉局や市内玩具メーカーに持参し、営業活動を行います。
- ・有識者の相談を通じて研修を重ねて販路開拓を図ります。
- ・「ユニバーサルデザイン」環境設備及びサービスの調査（二俣川ライトセンター旭区、健康福祉総合センター中区、光センター神奈川区）を予定。
- ・「ユニバーサルデザイン」生活用品の調査（玩具、トヨタ介護ロボット他）を予定

将来の展望

（1）歩行ロボットの夢

少し先の話になりますが、数年後「歩行誘導ロボット」の開発に着手したいと、考えています。昨今ニュースで、視覚障害者が鉄道のホームからの転落死を耳にします。私も怖い思いをしたことがあります。市営地下鉄上大岡駅の階段最上段から十数段転落しました。また、京浜急行電鉄横浜駅のホーム付け階段から半回転しながら落下しました。今でも冷や汗を感じるほどの恐怖を覚えています。5、6年の間に、こんなことが何度かありました。賢い盲導犬と一緒にだった人も落ちました。白杖をうまく使いこなす人も亡くなりました。今、私は安全を優先して付き添いの人と歩いています。ガイドヘルパー不足もよく耳にします。税金の問題もあるでしょう。一時間の誘導に税金が3,000円も使われるのです。外国籍の方がお手伝いしてくれても、支出は同じです。

「オトングラス」を開発販売している若い会社があります。作り手の経営者は、実父の眼の病気を察して作ったメガネで、顔にかけて文字を見ればすべて読んでくれる装置です。しかも外国語にも対応出来るのです。この眼鏡を本だけでなく外出した時に周囲の情報を知らせるように開発するそうです。AIの活かし方だと思います。開発の協力が出来るとよいと思います。また、平成22年ごろ、タブレットを拡大読書器に活用出来ることを指導してくれた東京大学の三宅琢医師のセミナー

に今年3月から通っています。神戸アイセンターの眼科医の高橋政代先生の紹介で通うことになったのです。関東各地から先進的な活動をしている視覚障害者が、集まり、課題解決の協力をしあっています。協力者を求めつつ「歩行誘導ロボット」の開発に臨みたいと思います。日本盲人会連合の下堂菌保先生から中小企業でいくつかプランを持った業者があると聞いています。紹介していただき具体的に活動を進めるつもりです。

地域経済や社会への影響・効果

（１）地元の視覚障害者の雇用の創出

5年に1回行われる厚生労働省の障害者実態調査によれば、全国の障害者（手帳を有する視覚障害）数は31.5万人でした。また就労率は約8%でおよそ2.5万人が職についている計算です。横浜市内には約6,000人の視覚障害者がくらしていますので概算で480人が就労していることになります。つまり6,000人中5,520人が失職もしくは無職の状態です。将来的に当事業の協力者をスタッフに採用し雇用の創出を図りたいと考えています。個人が生きがいを持ち自立して生活を送ることは、国や地方の節税にもつながります。まずモニターの仕事をお願いします。外出して人とかわる経験をしていただきます。わずかですが、報酬を手にして社会貢献の実感を得ることで就労に結びつく一助となればと思います。

（２）地元の公共機関の「ユニバーサルデザイン」化の促進

当事業において障害者施設横浜ラポールの屋内誘導ブロックの新旧タイプの比較調査を行いました。その後、誘導ブロックは視覚障害者と晴眼者の両方のために改善されました。このように建造物の内外にみんなが使いづらい障害をなくす「障害の社会モデルに基づくユニバーサルデザイン」の考えは市民全般の生活に豊かさと快適さをもたらすものに他なりません。「ユニバーサルデザイン」事業を通じて地元の公共機関の設備の使用がわかりやすく改良されます。

横浜に愛着を持って、横浜の地場産業との連携や在住障害者の就労の促進そして公共環境の改善を促す事業は、みんなの暮らしを楽しく快適にします。結果として横浜が豊かになる要素満載の事業と強く各賞を持ちました。

最後に

現在抱える課題はいくつかあります。それらは、実績の少なさ、登録制アルバイトのため人材配置に苦慮すること、重ねて新しいプロジェクトを組む際の資金が不足することです。最後にこの事業の課題と解決策をあげて、現実の厳しさを忘れないよう、身を引き締めて事業にあたりたいと思います。ここで私「盲女美術家 SACHIKO のビジネスプランの魅力」の提案のまとめとしたいと思います。

事業展開上の課題・問題点と解決策

（１）実績不足

- ・依頼者は実績を参考にすることが多いのに、年間で数件の仕事は少かったと思います。
- ・仕事を求めるために単独の営業に無理があったと思います。
- ・解決策
- ・経験を通じ技術力を高めるために更にトライアルの仕事も増やして実績を重ねます。
- ・営業方法を工夫し、会社訪問に加えSNSで広報をします。展示会に出展し、積極的に事業PRをします。

（２）人材不足

- ・今年度は実際に適切なモニターを派遣するには数が足りませんでした。

解決策

- ・日盲連、浜視協の各情報部よりモニター登録の呼びかけを次年度は半年後に募集する予定です。
- ・車椅子使用者や聴覚障害者の福祉団体に広報し、モニター登録の募集を年内に行います。

（３）資金不足

- ・トライアルの事業の経費を自己負担するため、初期費用がかさみました。

解決策

- ・融資を受ける、またネットを通じて寄付を呼びかける。あるいは、調査対象企業などに経費の負担をお願いするなどの工夫をします。